

ロゴタイプデザインー 一筆からー

LOGO TYPE DESIGN : From a Stroke

原木 せつ子
HARAKI, Setsuko

ロゴタイプデザインは社会的、経済的な契約において成り立っている合目的なものであり、いたって簡潔なものが多く、簡単にできてしまうように見えるが、感性、造形力、色彩感覚を研ぎすませてできあがる**言葉と視覚**による微細な表現である。

ものを示す術から発生した**文字**は、言語となり様々に展開していったわけであるが、ロゴタイプデザインを考える時、人がつくった文字からであれ、オリジナルなものであれ、これらが置かれた環境を反映させることが大切である。意味を持つ言葉本来のイメージ、その語を使う側の微細な差異などを推察しなければならない。

オリジナルな書き文字は筆・墨・用紙を、また文字の書体を選択し、その書体の大小・比率・変型、組文字における前後左右の微妙な字間（**空間**）を設定しロゴを演出してゆく。

文字の基本的な書体の形（骨格・エレメント）を把握し、イメージを捉える。明朝体は正統・厳格、ゴシック体は力強さ、丸ゴシック体は暖かさ、楷書体は伝統を感じさせるなど書体の印象も捉える。さらにエレメント、ウェイトの要素が加わることで前出の**印象**もそれぞれに変わってゆく。

ロゴタイプにおける組文字のバランスは最も重要である。欧文・和文、漢字・仮名などの縦組横組のライン揃え、画数の違いによる錯視調整、スペーシングなどの基本をふまえて**構成**してゆく。

文字、その『**かたち**』の美しさを意識したのはいつのころか定かではないが、生家の襖に描かれた伊佐新次郎の書が思い浮かぶ。筆文字の墨色と梳和紙の白さが心地よい和の空間を呈していたように思う。そして、多くの文字に関わりながら、幼き頃より親しんできた毛筆による書道とは異なる美的観点で、既成書体や書き文字、それらによる文字組みの美しさを識ることとなった。

書き文字の多彩な造形は、用具用材の選択に委ねられることが多く、その選択も多種多様である。例えば、筆は狸毛・鹿毛・馬毛などの動物性のものから竹・阿檀などの**植物性**のものなど、ペン、へら、クレヨン、マーカーなどがあるが、これらに限らずあらゆるものが使えるのである。また用紙・用材などの媒体においても同様である。

文字、その描画媒体をも活かした美しさを探究した『**ロゴタイプデザイン**』である。

水月花 SUIGEKA

若狭 三方町営観光ホテル

水月花

ロゴタイプデザイン 「水月花」
『若狭なる 三方の海の 浜清み
いゆきかへらひ見れどあかぬかも』
と万葉集に詠われる福井県若狭湾三
方湖、その湖畔に建つ三方町営観光
ホテル「水月花」のメインロゴ。
海・湖・山に囲まれた風光明媚な立
地条件に恵まれた観光ホテルの新築
に伴い、設計をされた建築家からの
コンペ形式の依頼であった。
毛筆のしなやかな筆運びを活かし十
数種類の試作を経て選定した。組み
文字の空間をいかに活かすかに苦慮
したが、その甲斐があり後の『梅の
里会館』『みかた温泉』のロゴも手
掛ける事となった。

若狭 三方町営観光ホテル

水月花



清酒「水月花」
鳥濱酒造株式会社

水月花
水月花
水月花
水月花
水月花

梅の里会館

梅の里

JA三方五湖

梅の里会館

UMENOSATO KAIKAN

ロゴタイプデザイン 「梅の里会館」
 福井県若狭湾三方湖の湖岸に建つ三方
 町営観光会館「梅の里会館」のロゴ。
 湖畔一帯に梅の産地としても知られる。
 竹筆のたおやかなしなやかさを活かし、
 梅の古木を思い描ける文字組みとした。
 「梅の里」と「会館」の組み、縦組み・
 横組みのバランスに苦慮した。

梅の里

若狭三方

梅の里会館

UMENOSATO KAIKAN

若狭三方

梅の里会館

若狭三方

梅の里会館

若狭三方

梅の里会館

若狭三方

梅の里会館

JA三方五湖

梅の里会館

UMENOSATO KAIKAN

gallery U

gallery U
学校法人 杉野学園

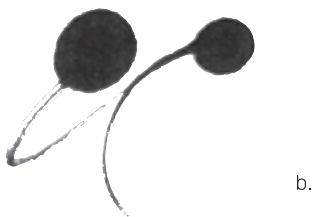


学校法人杉野学園『ギャラリー・ユー』

当時のギャラリー運営委員長今井絹子先生のネーミングで、『ユー』は、YOU・友・遊の意味を持つ学園の造形教育促進のためのギャラリーであるとの説明を受け、既存書体から、書き文字から10種類程の『U』を考えた。今井先生の適格な批評の末、上記のイメージにあったロゴが選ばれた。

『U』に付随する小文字の扱い、イメージカラーの設定は比較的スムーズに運び、ギャラリー前面のガラス面のロゴシートを貼ることから、後のギャラリー使用案内、封筒も手掛ることとなった。

下記3種は毛筆による書き文字で、水彩画用紙に太毛筆によるもの（a.c.）版画用吸水紙に毛筆によるものである。各々の紙質を生かした作品になった。



学校法人杉野学園ギャラリーU 使用案内用封筒



学校法人杉野学園ギャラリーU 使用案内 A4判三つ折り



学校法人杉野学園ギャラリーU

御菓子司 もとはし



栗饅頭

初雪

はし最中

茶通

パッケージ・シールデザイン 『栗饅頭』 『はし最中』 『初雪』 『茶通』

新宿御菓子司『もとはし』

新装開店時にあたり、和菓子のパッケージデザインをてがけた。包装紙・菓子箱・菓子袋のデザインの内、菓子袋のロゴデザイン。パッケージの軽やかな色合いと中国の古典文字のひとつに習いクールな淡々とした文字組みを、白抜きに仕上げ伝統の美しさと共に新風を感じさせることに留意した。版画用に使われる雁皮紙に鹿毛の極細面相筆による。

はし最中

栗最中

栗饅頭

胡饅頭

柚香実

初雪

茶通

桃山

一番碾

夢桔梗

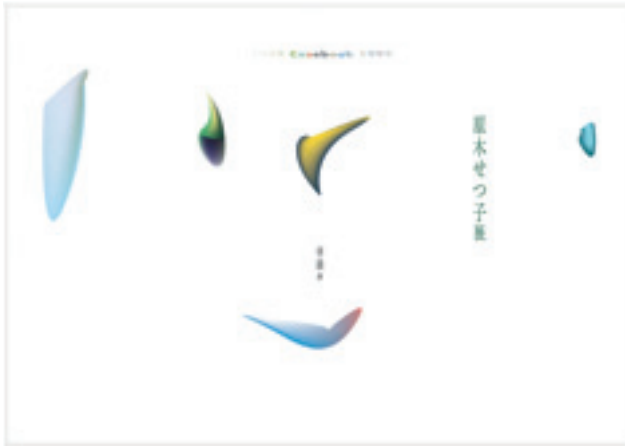
パッケージ・シールデザイン 『胡饅頭』 『柚香実』 『桃山』 『一番碾』

胡饅頭

柚香実

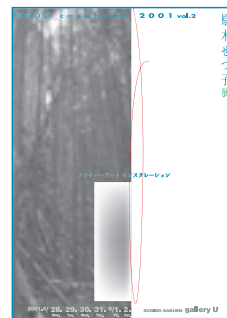
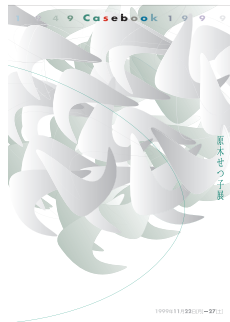
桃山

一番碾



個展案内 はがき・ポスター「Casebook 原木せつ子展」

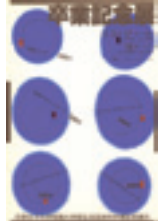
1 9 4 9 Casebook 1 9 9 9



'88



'87



以下、学生のイラストレーションを起用 '85



ギャラリーU企画月間リーフレット/B6 1998



ギャラリーU企画月間リーフレット/A4 2000



作曲家グループ「蒼」第21回新作演奏会プログラム



'91 O美術館



'92 新宿文化センター



'01 目黒区民ギャラリー

杉野女子大学短期大学部生活芸術科
卒業記念展



'03 目黒区民ギャラリー

杉野女子大学短期大学部生活芸術科
卒業記念展



杉野服飾大学・杉野服飾大学短期大学部
卒業制作・論文発表会案内状 B6 '04



ロゴタイプデザイン・ロゴタイプデザインを含むグラフィックデザイン制作リスト

- 1990 学校法人杉野学園ギャラリー・ユー(ld.) **4p.**
- 1991 『経済学』表紙 (ld.ed.)
- 1992 有限会社『三好』 (ld.)
- 1992 若狭三方町営観光ホテル『水月花』 (ld.) **2p**
- 1993 寿司割烹『寿司岩』 (ld.)
- 1993 御菓子司『もとはし』菓子袋他 (ld.) **5p**
- 1994 杉野学園『染織研究所』 (ld.)
- 1993～2003 短期大学部ビジュアルデザインコース『編集デザイン』表紙他
- 1995 『被服材料学』『被服消費科学』表紙 (ld. ed.)
- 1996 『杉野女子大学・杉野女子大学短期大学部 紀要』表紙 (ld.ed.)
- 1996 『日本ジュウリーデザイナーズ協会展』リーフレット (ld.ed.)
- 2000 杉野女子大学短期大学部生活芸術科広報紙『WHO'S WHO』 (ld.ed.)
- 2000～2005 杉野学園ギャラリー・ユー企画展リーフレット・ポスター 他 **7p**
- 2001 学校法人杉野学園ギャラリー・ユー『ギャラリー使用案内』 **4p**
- 2000～2003 『美しが丘ファミリーコンサート』リーフレット他 (ld.ed.)
- 2000～2002 杉野女子大学・杉野女子大学短期大学部『オープンキャンパス』『つくる』リーフレット
- 2003～2005 杉野服飾大学・杉野服飾大学短期大学部『オープンキャンパス』『つくる』リーフレット
- 2002 『杉野服飾大学・杉野服飾大学短期大学部図書館』看板
- 1974～2003 『生活芸術科卒業記念展』DM,ポスター他 **7p**
- 2002 若狭三方町営観光会館『梅の里会館』『みかた温泉』 (ld.) **3p**
- 2003 『杉野服飾大学・杉野服飾大学短期大学部卒業制作発表会』DM・ポスター他
- 2003 杉野服飾大学・杉野服飾大学短期大学部同窓会『ジャーナルすぎ』フォーマット
- 2002,2004. 音楽集団『蒼』プログラム他 (ld.ed.) **7p**
- 2003 創作袋物工房『のぶこ』 (ld.)
2004. 杉野女子大学短期大学部生活芸術科終了記念誌『セイゲイという学校があった』 (ld.ed.)